京都ワーキング・サバイバー会報誌

特定非営利法人京都ワーキング・サバイバー

http://www.kyoto-working.com/

2021 Spring Vol. 4

YouTube「京都ワーキング・サバイバーチャンネル」配信

京都ヒューマンフェスタ 2021 では、
サロンの様子を撮影に来られました

ちゃやまちキャンサーフォーラムでは、
患者紹介コーナーで、活動 PR 動画を

J－SUPPORT オンライン発表会では加盟する
全がん連から患者の立場として進行を担当

オンラインを活用したサロンの開催や動画の配信を始めました。

今年の４月に京都で緊急事態宣言が発令され、初めて定例サロンをお休みしましたが、働く世代のがん患者や家族にとっては、治療も仕事も待ってはくれないため、相談窓口を閉めるわけにはいかない！と、５月には ZOOM というオンライン会議システムを活用してサロンを再開しました。

オンライン開催では、体調の悪い方や遠方の方も参加できるというメリットがあり、新しい多くの方にご参加いただけるようになりました。また ZOOM 内で部屋分けも可能なため、個別相談や小グループでの交流もでき、参加者のニーズに合わせた交流を行っています。

また、情報発信として YouTube の配信も始めました。スタッフが、がんになった時に困った事、工夫したこと、会をしていて思っていることなどテーマを決めて発信することで、今情報を必要としている方に少しでもお役に立てるといいなと思っています。

今後はオンラインを活用しながら、リアルに交流できる場も大事にし、誰もが参加を楽しめる会を目指していきたいと考えています。

2021 年 3 月

京都人権文化講座 2020 にて講義

「がんサバイバーが暮らしやすい社会へ」をテーマに講座の一コマを担当。役員のがん体験談後、参加者に自分ががんになった時のことを考えてもらい、会場全体でディスカッションを行いました。

<2020.9.18　京都商工会議所にて>

西村医師によるセミナー開催

11 月「医師とのよりよいコミュニケーション」を感染対策のもと対面とオンラインで実施。身近な例の方を交えた軽快でわかりやすいお話に、初めてや遠方の方、毎回来られる方も有意義な時間となりました。

<2019.11.11 因幡堂定例サロンにて>

米村副理事長がカフェをオープン

上七軒の町家を改装した、薬膳カフェをオープンし、会のイベントなど場所の提供も申し出て下さっています。
少人数で貸し切りができ、体に優しい薬膳料理も楽しめるお店です。

<2020.10.2 オープン薬膳カフェぼちぼち>

定例サロン（第 2 水曜 18：30～20：30）は因幡堂（状況を鑑み）とオンラインにて開催

活動報告　参加、協力イベント

・10/10　リレーフォーライフ京都 2020（オンラインにて参加）
・10/27　摂津市ピンクリボンセミナー（講師として参加）
・11/3　第 2 回 J-SUPPORT 研究発表会（セッションの進行を担当、録画を配信中）
https://www.j-support.org/events/meeting/2nd_seikahoukoku/index.html
・11/7・14　京都がんピアサポータ養成講座（スタッフ、講師として参加）
・11/14　ちゃやまちキャンサーフォーラム 2020（患者会の紹介動画、配信中）
https://www.mbs.jp/joc/e_forum2020.shtml
・11/17　京都ヒューマンフェスタ 2020（活動動画の配信　2021.3.31 まで視聴可能）
・京都府医師会 産業保健委員として、両立支援に関する答申書の作成に協力

2020 年度サロン実績　参加者（オンライン・対面合計）

・5 月（5 名）　・10 月（7 名）
・6 月（6 名）　・11 月（19 名）
・7 月（5 名）　・12 月（11 名）
・8 月（8 名）　・1 月　（15 名）
・9 月（10 名）　・2 月　（11 名）

感染防止対策　新型コロナウィルス（COVID-19）対策について

昨年からオンラインは毎月開催とし、因幡堂での開催は感染状況を鑑みて臨機応変にしています（2021 年 1 月～4 月はオンラインのみ）。因幡堂での開催時は、検温と除菌シートでの手指や机等の消毒を徹底し、個別包装のお菓子、使い捨て紙コップの使用、換気を行っています。感染状況によっては今後もオンラインのみの可能性はありますが、参加者が希望に合わせて安心安全に参加できる工夫を今後も継続していきます。

募集中　チラシの配架先、講演依頼を募集！

当法人のチラシの配布・配架先を募集しています。また、当事者談話、両立支援についての講演や勉強会も承りますので、企業、病院、支援団体など、気軽にご相談くださいませ。

＜スタッフから＞

＜米村＞　2020 年度は私にとって、第二の人生のスタートとなりました❤
がん患者さんたちが、ゆったりとした時間を過ごしていただける、癒しの場そして集いの場となればいいなあと思い、『薬膳カフェぼちぼち』を 10 月にオープンしました。遊びにいらしてください。いつか、サロンでも、薬膳料理お伝えできたらと思っています。

＜橋＞　今年度いちばん印象に残っているのは、コロナ禍にも関わらず、定例サロンにたくさんの方が参加してくださったことです。
私たちの活動がお役に立てているんだなぁと感じ、うれしく思うとともに、私自身がみなさんの笑顔に癒されていました。
オンラインの可能性も感じることもできたので、来年度に活かしていきたいと思います。

＜林田＞　２０２０年９月で会は５周年を迎えることができました。心温かく見守ってくださる皆様あってこそ！ありがとうございます。
リモートサロンという新しい試みで新たな出会いも生まれ、嬉しいです。
この記念すべき年、私自身は仕事に忙殺され関われず残念でしたが、また、みなさまと会える日を楽しみにしています。

＜尾崎＞　皆さんこんにちは！ざっき～こと尾崎です。昨年度は皆さんとリアルにお会いすることが少なくなってしまい、私にとってもサロンはとても楽しみで元気を貰える空間だったことを改めて感じました。
色んな不安を抱え辛い時は、オンラインでもサロンを開催し続けるので顔を見せてください。いつもの笑顔でお待ちしています！

＜弓削＞　社会保険労務士として「治療と仕事の両立支援」をさせていただいています。両立支援という言葉が耳慣れた時代になってきてはいますが、まだまだ事業所側の理解も少ないところが多く、望まない退職や復帰が難しい場合もあります。罹患した方の相談を受け、仕事への不安を少しでも減らし復帰への支援が出来ればと思っています。

＜武田＞　勤務先の病院ではコロナ禍における面会禁止など、様々な制限で不安が強くなる患者家族様をみてきました。その中で、伝えること連携することの大切さを感じた１年だったと思います。
会の活動では「リンパ浮腫について」リモートでの講習会を担当しました。この状況下で発信や共有できる場の必要性を実感しています。

編集後記

今年度、患者さんはコロナの影響を大きく受けました。治療の延期や感染不安、面会禁止や度重なる PCR 検査等。会って支え合うことができず歯がゆい思いでしたが、オンラインや動画でも笑顔を取り戻せることを知り、繋がることの大切さを改めて感じました。今後も『今』できることを考え、一緒にこの困難を乗り越えていけたらと思います（前田）。

会員募集中！

がん患者さん、ご家族、企業の担当者、医療者が情報を得る場、お金や仕事の相談窓口、社会に向けた啓発活動のために、ご支援くださいませ。

個人会費：5,000 円／年
賛助会員：3,000 円／年
団体会費：1 口 10,000 円／年

京都ワーキング・サバイバー会報誌
2021 年春　4 号

発行：NPO 法人京都ワーキング・サバイバー
発行者：前田留里
住所：京都市南区唐橋羅城門町 38
マム・スクエア内
E-mail：kyotoworking@yahoo.co.jp
URL：http://www.kyoto-working.com/